



【佐倉市観光協会提供】

佐倉ふるさと広場



千葉県立佐倉
東高等学校
同窓会

佐倉市城内町 278
TEL043(484)1024
FAX043(486)0995

六月十八日の同窓会総会は多くの会員の方々のご出席で盛大に行われました。二年前より設けた実行委員会の惜しまぬ努力と創意と皆様方によるお声かけのお陰で総会後の懇親会も年々楽しいものとなりました。次年度も六月に開催予定です。多くの皆様のご出席をお待ちしております。

同窓会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃の暖かいご支援ご協力に感謝申し上げます。
去る三月十一日の東日本大震災は多くの犠牲者を出し、原発事故は地震国日本に大きな課題を投げました。地元佐倉市でも家屋等に被害が見られました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。佐倉東高校は体育館の耐震工事が完了したばかりでしたので、目立った被害はなかったことをお聞きしほっと胸をなでおろした次第です。



一度母校へ

会長 内田 正 恵

(昭和三十三年卒旧姓渡辺)

総会の席上でもご報告いたしました。が、母校への協力の一環として後援会と共同で校門の植込みに掲示板を設置いたしました。照明付きで防犯にも有効です。高校の沿革や同窓会報「まそかがみ」その他掲示しておりますのでどうぞ一度足をお運びください。歴博や城址公園の散策の折にもご覧いただけたらと思います。また、校歌碑を囲む卒業生から寄贈された桜も年毎に成長し四季の移ろいを知らせてくれます。今年の春も思わず立ち尽くしてしまう程の見事な花を咲かせてくれました。皆様是非春には母校をお尋ねください。共学の若き情熱もきつと感じることでしょう。

母校の発展と先輩の方々が営々と築きあげられた佐倉東高校同窓会の益々の発展をお祈りと共に、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。



時代と本校と同窓会

校長
仲野 仁

同窓会会員の皆様には、平素から本校並びに生徒に対し格別なご支援とご厚情を賜りありがとうございます。また、校門前に掲示板を設置していただき、お礼を申し上げます。近隣の方が、城址公園の行き帰りにしばし立ち止まり、本校の活動内容に目を向けていただいている姿は本当にうれしい限りです。

去る三月十一日に東北・関東を襲った地震と津波の被害には日本中が大きな衝撃を受けました。これまでの豊かさや利便性のみ追求してきた生活を反省し、生きるに足るエネルギーや生活を見直す世相が出て参りました。人々の生き方や価値観に少しずつ変化が生じてきているように感じられます。

周囲を大切に、協力して人のために尽くすことの必要性を避難施設で生活する方やボランティアの方の活動から教えられます。また、自分で考え、自分で動き、生活の中で物づくりを大切に、より高度な文化を目指すことの必要性を改めて感じます。本校が技芸学校として開校したことを考えますと、本校の果たす役割は今後も益々大きくなるものと思っております。

今年度は、「考え・自分を表現する力をつける」とことを学校の努力目標にいたしました。就職や進学では情報が氾濫する時代だからこそ「自分」というものを自然に表現することが求められています。

「まそかがみ」の原稿を依頼されると記念誌に少

し目を通します。その度に何時間か時を過ごしてまいります。佐倉東高校のそれぞれの時代の生徒たちの真摯な想い、先生方の豊かな人間性や生徒を育てる信念が伝わってきます。

去る六月十八日の同窓会総会に参加させていただきました。記念誌の記述と会員の皆さまのお姿が重なり、私なりに本校の校風や教育の一端を思い描いておりました。最後に斉唱していただいた校歌の調べもすばらしく、忘れ難いものでした。

今後とも、同窓会の皆さまには、本校生徒を温かく見守っていただき、時に激励していただけるようお願いいたします。本校同窓会が益々発展されることをお祈り申し上げます。



総会にて

ご挨拶

教頭
池澤 悟

この度、木更津東高等学校定時制から参りました教頭の池澤悟と申します。前任校は職員数も少なく、また、定時制高校ということで勤務時間も本校とは大変異なりました。

初めて本校に来る途中、道に迷いました。道ばたで子供さんと一緒に、おそらく家族で花摘みをしていた方に道を尋ねたところ、御親切にも大変時間をかけてくださり丁寧に詳しく案内していただきました。その方はなんと本校の卒業生でした。ゆつたりとした春の日、何となく先々のよい印象を受けた記憶が今よみがえります。

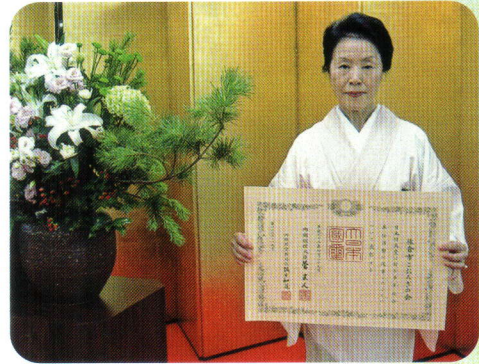
本校の周りには、佐倉城址公園があり、春には桜がとてきれいです。落ち着いた環境に恵まれ、生徒も素直で明るく、勉強とともに部活動も大変さかんです。先生方も生徒の指導にとっても熱心な印象を受けました。

直接には生徒の授業を持つようなことはないと思いますが、生徒一人一人が「この学校に来てよかったな」と思える様な学校を目指して、微力ながらお役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



祝 緑 綬 褒 章 受 章

受章の栄に浴して



朗読ボランティアグループ
『佐倉市こおろぎの会』

内 田 正 恵

平成二十三年度春の叙勲に際し「緑

綬褒章」という思いがけない大きな章をいただき、佐倉の片隅での小さな活動に光を当ててくださいましたことに、対し喜びと共に身の引締まる思いです。

六月二十九日に厚生労働省での大臣のご挨拶と受章式の後、天皇陛下の拝謁を賜るために皇居に入り「豊明殿」にて陛下をお待ちしました。「豊明殿」は皇居の一番広い宮殿で壁面には中村岳俊作の「豊幡雲」をつづれ織りで飾られ、天井には三十二個の真っ白なシヤンデリア。いかにもシンプルで日本の建築の粹を感じました。やがて陛下がお出ましになり、受章者代表による御礼の挨拶の後、陛下からの「おこたば」をいただきました。陛下がゆつく

りと受章者に話しかけられながら進まれ車椅子の方や目のご不自由な方には全員にお声をかけられました。穏やかで暖かな優しいお声でした。二度と経験できない貴重な日となり、静かにゆつくりと時が過ぎて行くのを感じました。このようにご報告できるのも日頃何かと支えてくださった皆様のお陰と御礼申し上げます。

去る六月の総会当日、仲野校長先生から予想もしなかった花束を頂戴し、実行委員のご配慮に感激いたしました。私達の会は昭和四十八年に目のご不自由な方への朗読奉仕を目的に発足。六名でスタート、今年で三十八年。さ

さやかでいいとの思いで物陰で鳴いているこおろぎになぞらえて会の名を付けました。現在会員三十二名。「こほう佐倉」「県民だより」「杜協さくら」「選挙広報」希望図書など種々CDに録音してお届けしています。

今後も受章で驕ることなく地道な活動ですが続けていく所存です。皆様のご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

同窓会総会に参加して

三 橋 はつ子 (昭和十七年卒 旧姓吉田)



長女が同窓会役員としてお手伝いさせて頂いたのを機に、親子三人での同窓会総会参加が恒例となりました。今年、会場の席札書きのお手伝いを致しました所、皆様にお褒めのお言葉とお花まで頂戴しありがとうございます。

私の高女時代の記憶をおぼろげながら少し辿ってみました。当時、女学校は四年制で、町では二人が進学いたしました。七人兄弟の総領娘の強情な願いを受け入れて受験を許した親の愛情をしみじみ有難く思います。

「競歩(強歩)大会」で、私は長距離が得意で皆と一緒に一生懸命に走ったものです。船橋く佐倉間26キロの競歩。県主催の千葉県庁前から成田の小学校までの34キロ競歩大会は、規定の重さで作られた重いリュックサックを背負ったマラソンでした。もう一息の所で腹痛に見舞われ惜

しくも二着。底の薄いズック靴なので足裏全体に大きな豆が出来て飛び上がる程の痛さでした。戦争が始まってからだと思うのですが八街での開墾作業も授業でした。原 節子主演の『指導物語』の撮影で国鉄佐倉駅のホームで日の丸を手に出征兵士を送るエキストラに駆り出された事もありました。

今年87歳になりますが「真摯醇正」の校訓と 校歌の「大和なでしこの精神」は心にしみ込み常に深いところから私を支え応援してくれていた様に感じております。わが母校が未来を創り出す学び舎として、又同窓生の誇りと強い絆のシンボルとしてこれからも着実に歴史を重ねられます事を、そして同窓会におかれましては良き伝統を引き継ぎ母校に寄り添い同窓の輪を広げながら、成長と発展を遂げられます事をお祈り申し上げます。最後にこの様な機会を与えて頂いた編集委員の皆様にご心から感謝申し上げます。

同窓生だより

東日本大震災に

思うこと

川崎順子

(昭和四十三年卒)

末の娘がちょうど東高校創立百周年の時に在学中で、私が広報役員をさせていただいた関係から同窓会総会に出席する様になり、今年で二回目です。この四月から娘も乳児院で働く様になり、私も三月で仕事を辞め、ボラン



炊き出しボランティアで

ティア活動に参加しようと思った矢先の三月十一日の東日本大震災。

家族で何か出来る事はないかと話した結果、計画していた旅行を取り止めその分を支援金とさせていた。たくさんし、入会しているNPO法人「印旛たすけあいネット」で三月二十二日旭市へボランティアに行きました。

寒い中での避難生活で食事は冷たいおにぎりやパン。温かいカレーうどんの炊き出しにとっても喜んでいただきました。その後、福島の内わき市、宮城の亘理町へ、やはりカレーうどんの炊き出しに行き、こちらでも大変喜ばれました。

復興までにはまだまだ時間がかかると思います。たとえ一ヶ月に一回でも被災地に向き出来る事からさせていただきます。思いがけないと思っております。

震災で思った事は核家族とか無縁社会と言われている今の日本の中で、ボランティアの方の多かった事。

又、ライフラインのストップで火や水の大切さを改めてわかった事。幸い佐倉市は計画停電にはあいませんでした。自分が自身では当り前のようだった事。自分が当り前ではないという事で

した。日本人は飲み水をトイレに流しているという事を聞き、わが家は節水トイレに変えました。これからは自分や家族の事だけを大切に思うのではなく、もっと社会に目を向けて生きて行きたいと思います。

素直な気持ちで

書きました

滋富貴志

(平成二十一年卒)

六月十八日に行われた佐倉東高校同窓会に参加させていただきました。去年、初めて参加をさせていただきました。今年、二回目の参加となりました。ずっと昔にご卒業された大先輩の方々と校長先生、教頭先生、佐倉東高校に勤務される数名の先生方に囲まれた私は若干二十歳です。大変緊張したことを思い出します。しかし、言いかえれば、「人生の大先輩」に囲まれているというだけでもあります。そんな環境は、私にとって貴重な場であり、多くのことを得ることが出来ました。

この同窓会に参加された方々それぞれ、時代も違えば、年齢も違う、学んだ校舎も違うわけです。しかし、同じ佐倉東高生として学んできたことに変わりはありません。そういう意味でも距離は本当に近く感じたので、緊張と

いうよりは、むしろ、心から楽しかったと言えます。

私が、三年前の在学中の時に佐倉東高校は百周年を迎えました。当時は百周年ということにあまり実感はありませんでした。しかし、今はそれを痛感しています。佐倉東高校の歴史と伝統の重み、栄光は卒業してから気が付くものなのですね。

過去をみれば、歴史と伝統の重み、栄光があるならば、未来はきっと素晴らしい希望や夢があると信じています。そこに人びとの様々な思い、困難や苦しみ、はたまた喜びや笑顔が刻まれている。佐倉東高校が作り上げられて行く。そこに同窓会の意義があります。来年の同窓会が心から楽しみです。



総会にて 高口先生(右)と

毎年クラス会は 夏ですよ!

川口葉子
(昭和四十三年卒)

最初は親しい仲間が五、六人集まり食事会。「あの今、何してるかしら? 皆で会ってみない!」と、話しまとまり平成十六年から始まりました。日程は、仕事の関係、帰省者を考慮してお盆過ぎに決めました。

参加者は増えたり減ったりですが、今回で七回目です。はとバスが昭和二十三年から運行して、六十周年を迎えたと知り、何か因縁を感じ企画をしました。

コースは皇居↓NHKスタジオパーク↓明治神宮↓東京タワーと、「東京などころコース」です。出発八月十八日午前十時、気温三十一度、夏の真つ盛りの中、汗をふきながらの名所巡りです。二階建てバスの中は、さながら高校の修学旅行のように乙女に戻り、楽しみました。この暑い中を歩かせて、このコースはおもしろかったなど、意見はまちまちでした。東京タワーも来年は、スカイツリーに人氣が移りそうです。

還暦を迎え、もう一度人生を

振り返り、あの時の女子高生が、これからの人生、一年に一度の気がねないクラス会を理屈なしで楽しんでもいいのではないのでしょうか。

六十年の人生を歩んできた中、情報交換することで、第二の人生の過ごし方に役立ったり、ストレス解消になったりするかもしれません。

つづけることで、今まで参加しなかった人も、何かのきっかけで出席するかもしれません。

がんばれ三年H組、元気で素敵なお七歳・八十歳・九十歳をめざし、来年も又、会える日を楽しみにしています。



暑かった!! (皇居前で)

ご存じですか

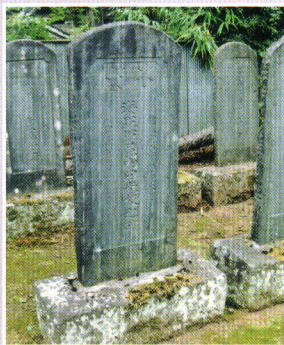
二十歳で散った白衣の天使



故内田光枝様「昭和十二年卒業生」は、幼くしてお母様を亡くされ本校卒業後、日本赤十字社で看護を学び「甲種看護看護婦」となり、上海勤務を経て、海軍病院船「天応丸」看護婦が最初に乗船した。に乗船し、昭和十八年十二月八日、二十名の看護婦と共に横須賀を出発、トラック島などで傷病者の看護・収容に従事されました。

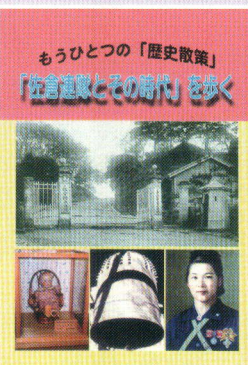
しかし、過酷な勤務と劣悪な環境の中で体調をくずし昭和十九年三月十五日帰国。「結核性脳膜炎」で、同年四月六日に死去されました。「天応丸」最初の殉職者となりました。

佐倉市馬渡「善養院」境内には、昭和十五年からの戦没者十七名の墓碑が並ぶ中、紅一点「海軍軍属内田光枝之碑」があります。ご冥福をお祈りいたします 合掌



※天応丸元オランダ豪華客船オプテンノール号を太平洋戦争開戦直後に日本海軍が拿捕し改造、「天応丸」と改名した。その後昭和十九年十一月に「第二氷川丸」と改名、多くの謎を残し、昭和二十年八月十八日舞鶴軍港にて、自爆処分された。

慈照院貞鑑妙光大姉
海軍軍属内田光枝之碑
昭和十九年四月六日
日本赤十字社甲種看護看護婦
天應丸ニ於テ戦没
行年二十三才



参考文献
「佐倉連隊とその時代」を歩く

恩師だより

セピア色の

新任六年間



旧職員

斎藤 勲

(昭和三十九年四月～
昭和四十五年三月)

校庭の桜に埋れる様な講堂で、入学式が行われた佐倉東高校の美しい環境が思い出されます。式後上級生により椅子が運び出され、掃き掃除、雑布掛けと見る間に復元される手際良さに驚きました。昭和三十九年十月聖火リレーの応援に行き、東高代表生の力強い走りに東京オリンピックを身近に感じました。文化祭に和服姿で演じられた「間々の手古奈」の音楽劇は印象的でした。早朝から、地球の雑布掛けで会場を整えて行う自校体操の全員ジャンプの時、グラウンドが揺れることにビックリし、その体育祭の盛り上がりは毎回感激でした。

夏休み前の暑い時、中庭などの花菖蒲を植え替えました。磯谷先生のご指導のもと、清清しくて頼もしい美化委

員長と三年生が中心となり、用具の準備、掘り上げ、株分け、運搬、植付けから後始末まで泥と汗にまみれて美化委員全員が良くやって下さいました。

全面移転の前日の会議後、村田校長先生に「斎藤君新校舎のトイレの水が出るか確認して来てくれ」と言われ、バイクで新校舎に行き玄関から二階に上り、入るとき少しためらいましたが、トイレの中は明るくコンクリートの臭いがし、個室に入りレバーを押すと綺麗な水が勢い良く走りぬけました。この流れこそ新しい校舎なのだと実感しました。

校長先生には確かめて慎重に行うことを教わりました。佐倉東高校で多くの楽しい思い出を頂きありがとうございました。



「寄付」

恩師 田中 章 先生

(昭和二十五年四月～昭和三十三年三月)
奥様の千枝様がお亡くなりになられました際に、金一封とお手紙が添えられご寄付を頂きました。

～先生からのお手紙～

昭和十八年佐倉高女卒業の田中千枝(旧姓高橋)は一月七日に死去致しました。

故人は佐倉高女を大変誇りに、又親しく思っていました。亡妻は大変優しい人でした。こんなに良い優しい人を教育してくれた佐倉高女に感謝しております。

心より御礼申し上げますと共に、大切に使用させて頂きたいと思えます。

「寄贈」

同窓会と後援会共同で、校門前に掲示板を設置致しました。学校の行事、活動内容、同窓会のコーナーもあり、道行く方々に目を向けて頂いております。



計報

鳥山 貞子 様

校外役員編集委員
(昭和五十九年～昭和六十二年)
箏曲部講師

平成二十三年一月二十八日ご逝去

林 厚子 様

校内役員
(平成三年～平成二十年)
校外役員編集委員
(平成二十二年～平成二十三年)

平成二十三年五月十三日ご逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成二十三年 総会の報告

佐倉東高同窓会総会は六月十八日ウイシュトンホテルにて開催致しました。三月十一日の東日本大震災で亡くなられた方々と、同窓会物故者への黙祷からはじまりました。

内田会長・仲野校長先生のご挨拶、新教頭池澤先生のご紹介、川勝教頭先生の学校現状報告、その中で東大に合格した生徒の話に拍手が沸きました。議事が進み役員の異動では、副会長に海保靖子さん、会計監査に奥津洋子さ

んを推薦し、他の議案とともにすべてが承認されました。永きに亘り校内役員・編集委員とご尽力頂いた林厚子さんがご逝去された報告をさせて頂きました。

懇親会では、朗読ボランティア「佐倉市こおろぎの会」が緑綬褒章を受章、代表の内田会長にお祝いの花束を贈呈し、皆さんで榮譽を称え祝福しました。アトラクションでは定時制新任の高口先生による大神楽の素晴らしい芸にアンコールがあり、皆様大変満足げの様子でした。お楽しみタイムでは、ジャンケンゲームで盛り上がり楽しみました。又、出席者最年長の三橋はつ子様に、素晴らしい毛筆で全員に名札を書いて頂き、皆様大変感心しておられました。最後に全員で手をつなぎ大きな輪になって、高野辰之作詞「故郷」瀧月夜「女子校校歌」を和やかに合唱しました。今年も同窓生の石井正子様よりきれいなお花を頂きました。

皆様のご協力により無事終える事ができ、役員一同感謝致しております。来年の総会にもどうぞ皆様お誘いあわせのうえ、多数の方々が出席して下さいますようお願い申し上げます。

事務局委員（密本・秋葉）

本部役員

（校外）

会長

内田 正恵

副会長

秋本 陽子

会計監査

三橋 由美

編集委員

奥津 洋子

小山 良江

内田美恵子

秋本 陽子

柳 高子

小島優美子

川島 文子

密本 政子

秋葉佐和子

事務局委員

（校内）

学校長（副会長）

仲野 仁

池澤 悟

川勝 里文

木下久二欧

北村 恵子

野口みどり

船岡 和美

有田美代子

役員

事務長

教頭

お知らせ

定期異動

※春の定期異動により、平山弘之教頭先生が千葉北高校に、新たに木更津東高校定時制より池澤悟教頭先生がご着任されました。

※副会長の清宮美智子さんがご退任、後任に海保靖子さんが、会計監査に奥津洋子さんがお仲間入りしました。

耐震工事

昨年は体育館を、本年度は管理教室棟の改修工事が終わりました。

次回総会のご案内

平成二十四年度の同窓会総会は、六月の第三土曜日、六月十六日を予定しております。

インターネットで 母校の情報を



「千葉県立佐倉東高校」で検索されますとご覧頂けます。どうぞご利用下さい。



学校では

調理国際科

調理国際科主任 伊藤 美子

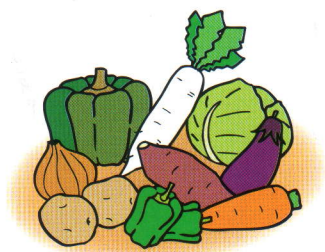
調理国際科の特徴は高校教育の中に調理師養成のカリキュラムを加えてあるところです。目的を持って入学する生徒達は、意欲的に日々の学習に取り組んでいます。

平成17年からの男女共学以降、男子の入学者が徐々に増加し、今年度は16名の男子が入学しました。

平成20年からは2年生の夏休みに、主に成田・千葉のホテルや給食施設でインターンシップ学習を行っています。調理師としての就業体験をすることで将来の進路を考える良い経験となっています。また、最近では料理コンテストに多くの生徒が積極的に参加するようになっています。

昨年は柏市産の『野菜をおいしく食べる創作料理コンテスト』で、131点の応募から優秀作品の5作品の1つに選ばれました。また、『健康力ミカミ弁当コンクール』では、千葉県歯科医師会長賞を受賞しています。そして今年度は全国高校生スイーツ選手権大会で関東ブロック5チームに選ばれ地区予選大会に出場、全国大会を目指しています。

す。コンテスト以外にも鹿嶋祭では三年生がオリジナル弁当作りにも取り組んでいます。これまで『千産千消』松花弁当・『千葉弁(絆)』・『千葉けんこう弁当』を作り販売しました。このように、基本の調理手法を学習しながら、高校生らしい豊かな発想力で新しい料理を創り出すことにも意欲的に取り組んでいます。



平成二十二年度 進路状況

進路指導主事 六倉 潔

未だ不況から脱し得ぬ日本経済に追い打ちを掛けるがごとく発生した今回の大震災に際し、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。この震災の影響が今年の進路、特に就職にどう現れるかはまだ分かりませんが、相当厳しいと言ふことは想像が付きま

◆合格・進路先一覧

(平成23年3月卒)

大 学

杉野服飾大学、東京家政学院大学、東京農業大学、立正大学、和洋女子大学、他

短期大学

青山学院女子短期大学、植草学園短期大学、淑徳短期大学、帝京平成看護短期大学、千葉経済大学短期大学部、他

◆進路別状況

()は男子

		服飾デザイン		調理国際		普 通		合 計	
進 学	4年生大学	1	(0)	6	(2)	30	(8)	37	(10)
	短 大	0	(0)	0	(0)	16	(0)	16	(0)
	専修・各種	18	(0)	13	(1)	59	(12)	90	(13)
就 職		7	(0)	6	(1)	17	(3)	30	(4)
その他		9	(0)	9	(0)	22	(2)	40	(2)
未 定		0	(0)	2	(2)	9	(3)	11	(5)
計		35	(0)	36	(6)	153	(28)	224	(34)

編集後記

このたびの東日本大震災の被害にあわれた方には、心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧をお祈り致します。

内田会長の緑綬褒章受章、なでしこジャパンの優勝は、「あきらめない心」を教えてくれたように思います。

(小島)

昨年度の進路状況を見ましても、目立つのが「その他」の多さです。「その他」とは、アルバイトなど不安定な進路先のことです。しっかりとした目標を持ったアルバイトならいいのですが、就職活動もせず、「別にアルバイトでも何とかなるつしよ」、「何にもしたくない」という感じでは必ず後悔します。

進学においても、「学びたいこと」、「身に付けたいこと」、「そこを卒業した後の進路」をよく考え、「行きたい学校」に行くために努力することが大切なのです。努力もせず、「入れてくれる学校」でいいではダメです。お金の無駄です。

「進路」とは生き方を考えることです。どういう人生を歩んでいくのかをしつかり考えて、進路を決めて欲しいと思います。その手助けをするのが我々教師の務めです。